

磐田市福田地区及び磐田中央地区デマンド型乗合タクシーの自己評価について

「磐田市福田地区デマンド型乗合タクシー」及び「磐田中央地区デマンド型乗合タクシー」の地域公共交通確保維持改善事業に関する令和元年度（平成30年10月から令和元年9月分）の自己評価を別添のとおり定めるものとする。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和元年12月25日

協議会名: 磐田市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
①福田地区デマンド型乗合タクシー ②磐田中央地区デマンド型乗合タクシー 委託事業者:遠鉄タクシー株式会社	①福田地区、磐田駅周辺地区及び磐田市立総合病院等の運行 ②磐田中央地区及び磐田市立総合病院等の運行	H29・30年度に運行内容の見直しを図ったことによる利便性の向上について、利用者からの意見を把握するため、車内アンケート調査や高齢者サロン等での意見交換を実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	評価指標 ①一日当たり利用者数 ②交通結節点利用者数 [福田] ()は目標値 ①8.1人(6人) ②226人(250人) [磐田中央] ①25人(14人) ②1,003人(190人) ※分析等:福田地区の交通結節点利用者数は一部の利用控えが影響し目標値を下回ったが、実利用者数は前年度を維持している。また、評価指標以外の把握方法として、新たに採り入れた車内アンケート調査により、利用者の声を把握した。	引き続き、高齢者サロンや意見交換会等の地域住民の声を聴く場を広く設けるとともに、警察署等、関係機関と連携・協力して制度の周知拡大に努めていく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和元年12月25日

協議会名:	磐田市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本市の公共交通は、5つの鉄道駅と磐田駅から放射線状に伸びる路線バス網、全域運行のデマンド型乗合タクシー及び一般タクシーで構成されている。また、デマンド型乗合タクシーは、鉄道及び路線バスに接続するフィーダー路線としての役割を果たすことにより、地域内はもとより地域間を結ぶ公共交通ネットワークが形成されている。</p> <p>今後、さらに高齢化が進展する中で、誰もが地域で安心して暮らし続けることができるよう、行政、交通事業者、地域住民・組織の関係者が役割分担をし、相互に連携、協力しながら地域公共交通の確保・充実に取り組むことが必要である。</p>

令和元年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

磐田市地域公共交通会議

平成19年10月17日設置

フィーダー系統 平成30年6月29日 確保維持計画策定

1.協議会が目指す地域公共交通の姿 (Plan)

1 地域の特性

磐田市は静岡県の西部に位置し、東は袋井市・森町、北・西は、浜松市とそれぞれ接し、南は遠州灘に面している。

補助対象地区である福田地区は市の南東部に位置し、南は遠州灘に面し、地区全域が低地となっている。また、磐田中央地区は市のほぼ中心部に位置し、磐田駅や市役所等の主要な公共施設が立地するまちの中心的地区である。

2 公共交通の現状及び目標

市内には2本の鉄道（JR東海道本線、天竜浜名湖鉄道）が通り、磐田駅・豊田町駅・敷地駅・豊岡駅・上野部駅の5つの鉄道駅がある。なお、令和元年度末にはJR東海道本線の御厨駅が開業予定である。

民間路線バスは、近隣の浜松市・袋井市・森町等と本市を結ぶ広域路線6路線が運行されており、磐田駅を中心に放射線状に路線網が形成されている。また、市では、自主運行バスの代替手段として、デマンド型乗合タクシーを運行しており、バス路線など既存の公共交通への乗り継ぎを図りつつ、通院や買い物などの日常生活に必要な移動手段としての役割を果たしている。

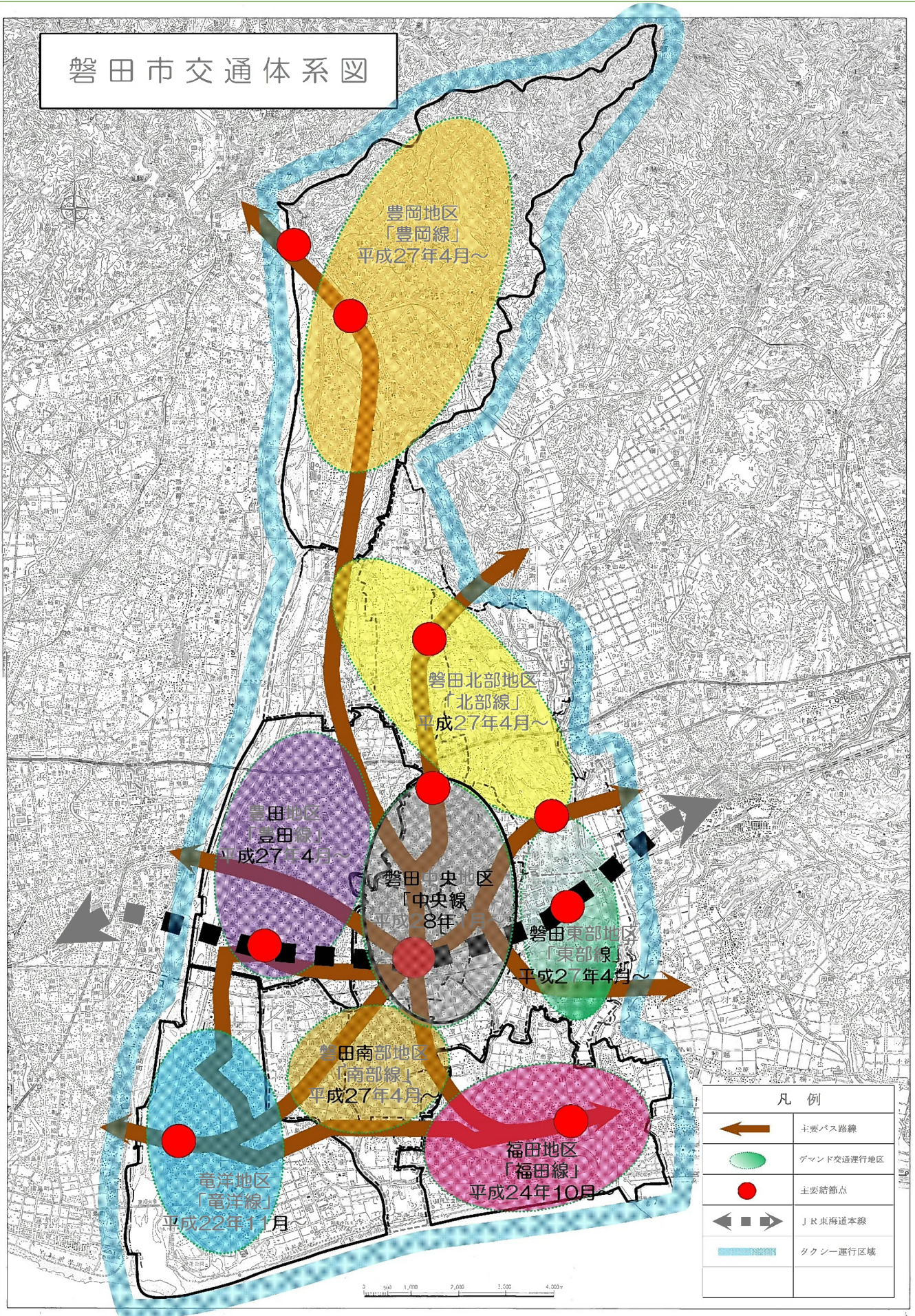
平成22年11月の導入以降、順次エリアを拡大し、福田線は平成24年10月、磐田中央線は平成28年1月から路線開設した。現在は市内全域を8路線にて運行している。

将来的な人口減少やさらなる高齢化が見込まれる中で、地域住民自らが公共交通の必要性について共通の認識を持ち、積極的に利用することで地域公共交通を支えるとともに、市や交通事業者による利用促進策の実施や、誰もが使いやすい環境の整備により、持続性のある交通サービスとして確保・維持することを目標としている。

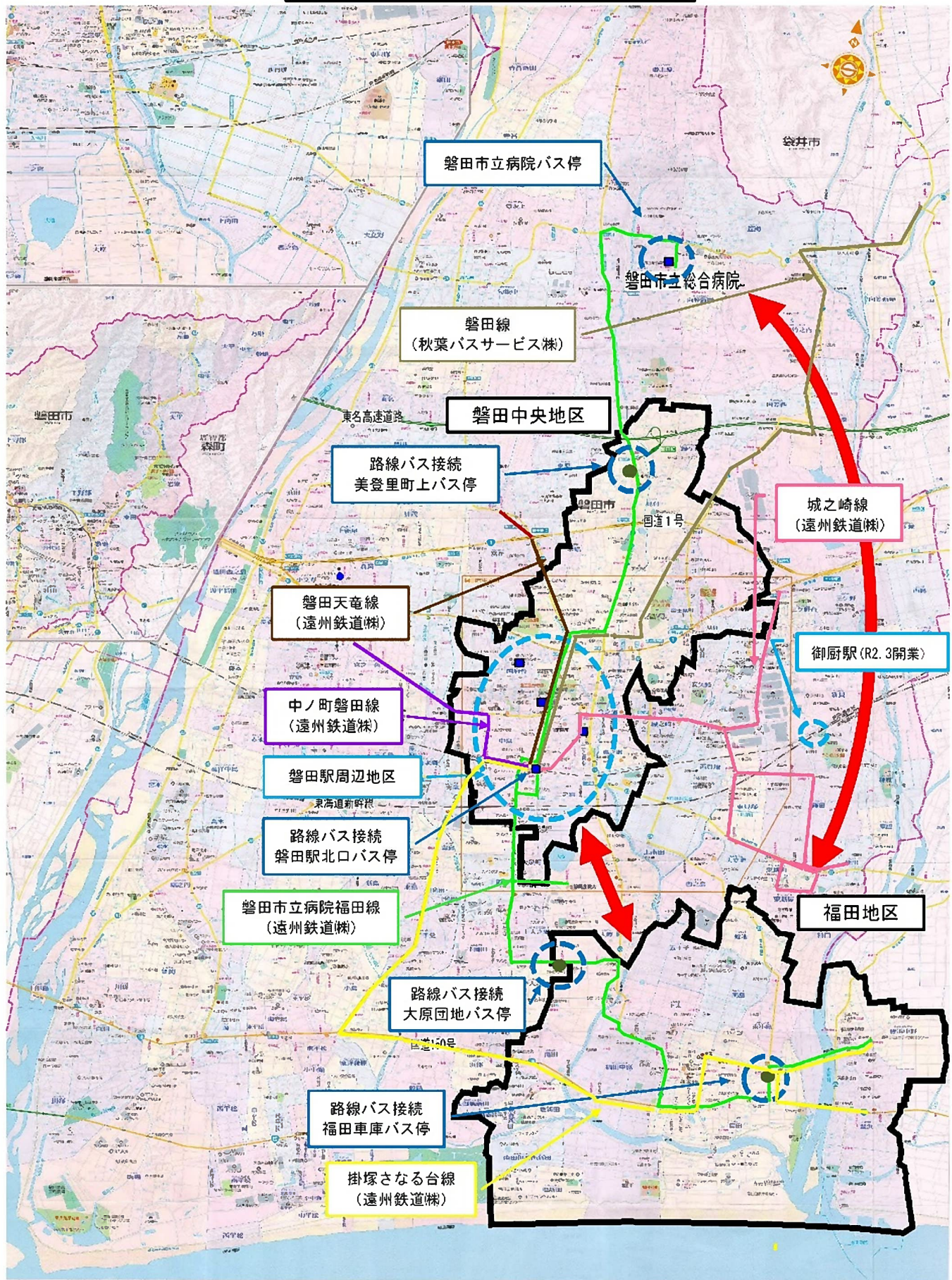
3 基礎データ（令和元年9月末現在）

人口：169,898人、高齢化率：27.9%、面積：163.45 km²

磐田市交通体系図



ネットワーク計画概要図



2.目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容 (Do)

■ 当該年度実施した取組み

1 啓発活動

・高齢者サロンでの制度周知

- ・市ホームページや市広報紙への掲載
- ・磐田警察署の免許窓口での制度紹介
- ・交通安全指導員と連携した高齢者宅訪問での制度周知
- ・高齢者と接する機会の多い団体を通じた制度周知と登録促進
- ・委託事業者と協力し、タクシー車内での制度紹介とアンケート調査の実施

2 平成29・30年度におけるデマンド型乗合タクシー運行内容の見直しに伴い、上記の啓発活動を踏まえた利用状況の推移を検証した。また、運行事業者との定例会において、利用状況や利便性向上策等の情報共有に努めた。

■公共交通ネットワークの中での位置づけ・地域間幹線系統との接続状況

デマンド型乗合タクシーは、高齢者等の日常生活における移動手段の一つとして、既存の公共交通機関を補完する役割を担っている。バス路線等への乗り継ぎを図るため、交通結節点に配慮した上で指定施設を設定している。

3.計画の達成状況の評価指標とその結果 (Check)

指標	前年度実績 (H29.10～H30.9)	目標値 (H30.6策定)	実績 (H30.10～R1.9)	
一日当たり利用者数	6.7人	6人	8.1人	(福田地区)
	14.8人	14人	25人	(中央地区)
交通結節点(主要バス停、磐田駅)利用者数	213人	250人	226人	(福田地区)
	383人	190人	1,003人	(中央地区)

※直近2か年の実績値や伸び率を参考に設定

<福田地区の評価>

- ・磐田市立総合病院の運賃引き下げや予約受付時間短縮等の運行見直しにより、一日当たり利用者数は目標値を上回った
- ・交通結節点利用者数は一部の利用控えが影響し目標値を下回ったが、実利用者数は前年度を維持している

<中央地区の評価>

- ・利用対象者年齢の引き下げや磐田市立総合病院の指定施設追加等の運行見直しにより、一日当たり利用者数・交通結節点利用者数ともに目標値を大きく上回った

<今後の方針>

- ・福田・中央地区とも利用拡大が図られているため、今後も維持できるように努める

3.計画の達成状況の評価指標とその結果 (Check)

〈参考〉

『お助け号』利用状況（運行期間：H30.10～R1.9）			
地区名	一日当たりの利用者数	交通結節点利用者数	全体利用者数
豊田地区	21.4	446	6,208
磐田北部地区 (大藤・向笠・岩田地区)	3.5	180	811
磐田東部地区 (西貝・田原・御厨・南御厨地区)	7.7	209	2,221
磐田南部地区 (天竜・長野・於保地区)	9.6	181	2,778
磐田中央地区 (見付・中泉・今之浦地区)	25.0	1,003	7,254
竜洋地区	10.9	252	3,168
福田地区	8.1	226	2,347
豊岡地区	5.9	157	1,608
合 計	92.1	2,654	26,395

4.自己評価から得られた課題と対応方針 (Act)

■継続的な利用促進に向けた取り組みについて

制度内容の浸透により住民の認知度が高まってきているが、今まで把握できなかった利用者の声を収集するために、多方面からの集約方法を探っていきたい。

→住民周知・利用促進検討会の開催（令和元年9月～10月実施）

制度周知や利用促進を図る事項等について協議するため、自治会、老人クラブ、民生委員、福祉関係団体者、運行事業者及び市職員で組織する検討会を全地区にて開催

→警察署と連携した利用登録窓口の拡大（令和元年11月～）

→住民からの問合せが多いリハビリ系病院の利用者意向を把握するため、アンケート調査実施（令和元年12月～令和2年1月予定）

→高齢者サロンなどの住民との接点を活用した情報提供

→民生委員や地域包括支援センター、自治会連合会等の団体を通じた情報共有

→委託事業者と協力し、タクシー車内での制度紹介 など

令和元年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

磐田市地域公共交通会議

平成19年10月17日設置

フィーダー系統 平成30年6月29日 確保維持計画策定

1.直近の第三者評価の活用・対応状況

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>地域間幹線系統に関する記載がないが、掛塚さなる台線や磐田線は関係ないということか。幹線系統とフィーダー系統の乗継に関しても把握しておく必要がある。</p>	<p>中部様式の路線図に記載した。バス停とその周辺施設をデマンド型乗合タクシーの目的地に設定することで、フィーダーとしての役割を果たしている。</p>	<p>今後も、目的地を設定する上では、幹線系統とフィーダー系統の乗継を意識していきたい。</p>
<p>網形成計画の評価と本様式の評価の関係性はどうなっているのか。</p>	<p>本様式における評価は、フィーダー系統としてのデマンド型乗合タクシーの乗継を踏まえた評価である一方、網形成計画は新たな交通拠点となる磐田新駅周辺地域における地域公共交通網の形成にかかる評価項目を設けている。</p>	<p>公共交通ネットワークをよりよいものとするため、福田地区・中央地区だけでなく、他地区の状況についても情報提供に努めていく。</p>

2.アピールポイント

■高齢者に対する効果的な制度周知について

- ①高齢者サロンや地区の敬老会において、デマンド型乗合タクシーの制度周知を実施
 - 住民との意見交換をする中で、利用者目線での課題や要望の収集・検証
 - 防犯、交通安全、防災の啓発でデマンド型乗合タクシーも周知
- ②交通安全指導員と連携した高齢者宅訪問での周知
 - 運転免許証自主返納の促進とあわせて、デマンド型乗合タクシーを制度周知
 - 利用者のうち、運転免許証自主返納者の割合は、平成29年度は15%、平成30年度は25%であり、大きく増加

